

# 日本共産党

## 日下みや子

### ●防災対策について

**問** 木造建築の耐震化が急がれる。補助率の引き上げや収入要件の緩和と促進を図るべきだ。

**答** 耐震改修費の補助要件の収入の上限緩和等を検討する。

**問** マンションへの耐震診断助成制度の創設を求める。

**答** マンションの耐震化も重要。実効性のある制度を検討したい。

**問** DV被害者への身を守る一時保護施設と支援団体への助成の拡充を。

**答** 24年度の行革の一環で当補助金は見直しの対象になっていたが、DV防止法で意義がうたわれており、補助金の交付の継続及び団体への支援、連携を推進したい。

**問** 「ふれあいおふるの日」事業長く続けられてきた「ふれあいおふるの日」が今年から廃止になった。復活を求める。

**答** 保健福祉施策の方向性は市民の最低限度の生活を保障する施策に転換している。高齢者の生きがいなどの施策は、優先順位が低い。

**問** 中央老人福祉センターのお風呂はどうなっているのか。

**答** 天井の崩落があり中止している。再開は未定となっている。

**問** 側溝も雨水管もないところ1670平米の宅地分譲が行われ、周辺住宅に雨水を垂れ流している。実態は開発行為であり、許可してはならないことだ。

**答** 建築基準法の道路位置指定により整備された敷地に建築し

た住宅とそれぞれの土地の所有者が住宅建築した。都市計画法の開発行為では許可していない。雨水の緊急対策を求める。

**問** 雨水放流先の検討をする。

**答** 橋上駅舎化の実現については概算費用や国等の支援制度の活用を検討した上で取り組む。

## 武藤美津江

### ●憲法問題

**問** 憲法問題が総選挙の大争点になってきた。9条は、絶対に変えてはならないと思うが、市長の見解はどうか。

**答** 憲法改正、安全保障のあり方については国で議論すべきものとする。

**問** 脱原発を目指す首長会議の参加を求める。

**答** 脱原発を目指す首長会議へ参加し、直ちに原発ゼロを主張していただきたいが、どうか。

**問** 今後参加については見合わせてほしい。

**答** 今後参加については見合わせてほしい。

**問** 地球温暖化対策

**答** 地球温暖化対策課の設置が必要と考えるが、どうか。

**問** 現行を維持しながら必要に応じて人員増加などの強化はしていただきたい。

**答** 飯田市は、自然特性を生かしたエネルギーを地域で利用するというエネルギー環境循環型地域システムを構築した。本市としても、専門家の力もかりて積極的に飯田市のようなシステムを取り入れるべき。

**問** 民間会社が提案してくると想定している。学校の屋根等通常使っていない資産が寄与するならば積極的に協力していただきたい。

**答** 民間会社が提案してくると想定している。学校の屋根等通常使っていない資産が寄与するならば積極的に協力していただきたい。

**問** 国民健康保険事業

**答** 23年度国保会計は、20億円の黒字。保険料の引き下げは可能ではないか。

**答** 保険料を引き下げることが非常に困難である。

**問** 高柳駅の改善

**答** 橋上駅舎化に向けて、住民の願いを裏切らないよう取り組んでいただきたい。

**問** 橋上駅舎化の実現については概算費用や国等の支援制度の活用を検討した上で取り組む。

**答** 橋上駅舎化の実現については概算費用や国等の支援制度の活用を検討した上で取り組む。

**問** 放射能対策

**答** 我孫子市や松戸市が策定しているような放射能対策の総合計画をつくるべきではないか。

**答** 総合的な計画を策定する考えはない。

**問** 民有地の除染は業者委託も含めて、市が直接担うべき。

**答** 業者委託の除染では地表面のマイクロスポットが見逃されてしまう。放射線防護の考えに基づく選択肢を案内する。

**問** 6月成立した「原発事故子ども・被災者支援法」の適用申請と、具体的方針について国に意見を述べ、子どもたちの健康調査をさらに進めてほしい。

**答** 国への支援区域指定の要請は考えていない。

# 無所属

## 内田博紀

### ●市長の政治姿勢について

**問** 残り1年の任期でこれだけはやり遂げたいという政策は何か。

**答** 急務である放射線対策のほか、防災を含めた市民の皆様の安全、安心を確保する施策を優先しながら、子育て支援施策などマニフェストに掲げた施策を一つでも多く達成できるように、残りの任期を務める。また、義務教育未就学者への社会的救済についても、公立夜間中学を一つの選択肢として、何らかの見解を示せるよう努めていきたいと考えている。

**問** コミュニティ交通について

**答** 高柳コースの再編に当たっては廃線となるコミュニティバスの代用措置として逆井駅東口に乗り入れるルートとしてほしいがどうか。

**答** ジャンボタクシーの高柳・金山コースについては、逆井駅東口までの延伸を含む変更を4月を目途に実施できるように取り組んでいる。

**問** 本市上空を空域とする空港の拡張問題について

**答** 成田空港30万回離発着に伴う本市における影響は何か。

**答** 本市上空を飛行する航空機は、下総基地を使用する自衛隊機、羽田空港及び成田空港を使用する民間機がある。これらは管制により安全に運行がなされているものと認識している。離発着の増加による影響については今後も注視していく。

**問** 高柳駅の改修

**答** 高柳駅橋上駅舎の改修については、早急に実施設計をつくると、事業費を確定して事業者と積極的に協議すべきと考えるが、今後の取り組みは。

**問** 橋上駅舎化に向け改修が望まれる高柳駅

**答** 駅利用者や駅周辺の方から強く要望いただいている橋上駅舎化に向け、これから試算する事業費や国等の新制度の活用を検討し、引き続き東武鉄道と協議し、実現に向けて取り組んでいく。

**問** 新市建設計画について

**答** 新市建設計画の道路事業の柏公園入り口、大井地先、東台本町、戸張、道の駅しようなん、布瀬までの路線の事業を早急に進めてほしいが。

**答** 総延長約1万8000メートルのうち、整備済みが約6100メートルとなっており、進捗率は34%である。計画は26年度末までだが、関係法律の改正を受け、期間延長を行い引き続き取り組んでいく。

# 新世柏

## 中村昌治

### ●コミュニティ活動の支援

**問** 風早北部地域については、沼南公民館をコミュニティセンターとするとなっているが、利用者からは反対の要望書が提出された。新たに用地を求めて近隣センターを新設すべきと考え

**答** 風早北部地域については、沼南公民館をコミュニティセンターとするとなっているが、利用者からは反対の要望書が提出された。新たに用地を求めて近隣センターを新設すべきと考え

**問** コミュニティ活動の支援

**答** 風早北部地域については、沼南公民館をコミュニティセンターとするとなっているが、利用者からは反対の要望書が提出された。新たに用地を求めて近隣センターを新設すべきと考え

**問** 船橋は乳児室と匍匐室(※)の最低基準を一人当たり4.95平米と定めた。なぜ本市は3.3平米なのか。

**答** 船橋は乳児室と匍匐室(※)の最低基準を一人当たり4.95平米と定めた。なぜ本市は3.3平米なのか。

**問** 保育行政

**答** 保育園待機児童数は何人か。解消に向けた取り組みは。

**答** 11月1日現在で516人。その内476人が0歳から2歳児。来年度3園を含め、10園程度の整備を行いたい。

**問** 保育行政

**答** 保育園待機児童数は何人か。解消に向けた取り組みは。

**答** 11月1日現在で516人。その内476人が0歳から2歳児。来年度3園を含め、10園程度の整備を行いたい。



橋上駅舎化に向け改修が望まれる高柳駅

※ 匍匐 (ほふく) 室=乳児が自由に入って、動き回れるスペース